

【今回のテーマ】:「マネジメント」の通信教育

「心臓関係」の話が続いたので、今月は「マネジメント的なことに関する勉強」について記したいと思います。以下の写真はルネサンス社時代に受けさせていただいたマネジメントに関する通信教育です。「受けさせていただいた」というのは、(今から20年近く前ですので・・・)記憶が正しければ支配人候補や新任支配人等の義務だったからです。(もしかしたら、支配人全員かも)。「マネジメントの基礎知識」や「マネジメントの実際」というテーマを学んでいます。実に楽しかった覚えがあります。



【今回学んでいただきたいこと】

「楽しかった」と同時に「簡単だった」という思い出もあります。これは私が優秀だったとか、内容に問題があったといたいものではありません。実際、「簡単だった」と感じた私は、数年後に支配人として失脚しています。そうではなく、このような「外」での勉強をすると「社内外」における自分のポジションが確認できます。「他業態のリーダー候補もこのような問題を抱えているのか」、「自社の社員達はこのテキストをこのように評価していたな」などが認識できるのです。自分のポジション(課題)がわかれば、その後の学習もより効率的になります。このように勉強というのは一定以上のチャネルを持ちながら、少しずつ「自分」という「軸」を確立していくことが大切だと思います。次回は教科書の中身について、(著作権の問題にならないように)私の言葉に置き換えながら紹介してみたいと思います。古い教科書ですが、現在にも通用しそうな箇所をピックアップしてみたいと思います。

以上